

農技セ第 9113 号
平成 31 年 1 月 10 日

信州大学農学部 加藤正人 様

徳島県立農林水産総合技術支援センター
所長 河野 功

平成30年度農林水産技術セミナー（林業講演会）の講師派遣について
（依頼）

寒冷の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当センターでは、最新の研究成果や現場への普及の取組を広く紹介するため、毎年度セミナーを実施しており、このたび別紙のとおり「農林水産技術セミナー（森林林業研究発表会及び講演会）」を開催します。

ついては、ご多忙とは存じますが当セミナーにご出席いただくとともに下記演題による講師をお願いします。

- 1 日時 平成31年2月28日(木) 午後1時30分から午後4時30分まで
(うち講演時間午後3時から午後4時10分)
- 2 場所 徳島県立農林水産総合技術支援センター 1階大会議室
徳島県名西郡石井町石井字石井1660
- 3 内容 ICTを活用した林業研究に関する講演
演題「林業の成長産業化とICTスマート精密林業」

特別講演

◆ 講演会【15:00~16:20】

「林業の成長産業化とICTスマート精密林業」

レーザーセンシング (LS) やドローンは三次元デジタル化技術の先進技術であり、森林分野においても、各種センサ搭載で、安全・短時間・科学的に森林の様子を全数把握できることから、実利用とイノベーションが進んでいる。

「スマート精密林業」は森林施業の効率化と省力化、需要に応じた高度な木材生産等を可能にするICTを利用したクラウドサービスによる情報共有、木材サプライ・チェーンの構築に向けた取り組みである。平成28年度から農水省の革新的技術開発事業（地域戦略プロ）でレーザーセンシング情報によるスマート精密林業を森林・林業県の長野県で産学官連携コンソーシアムで開発している。

平成29年度に参画機関の個別取り組みを体系化して、日本初のスマート精密林業を公開した結果、政府の進める【未来戦略2018】林業改革におけるスマート林業の推進の取り組み事例として掲載された。

平成30年度から「タスクフォースNAGANO：林野庁スマート林業構築実践事業」において、長野県と信州大学、林業事業者で協議会を発足し、県内10地域の森林組合でドローンによるスマート林業を展開している。海外の先進林業国と同様に、スマート精密林業を展開することで、田舎にある豊富な山林を生きて雇用の場と、林業の成長産業化に取り組む。

これら事業の概要、ドローンLSによる精密林業技術、日本初のスマート精密林業、日本林業の強化、林業イノベーションと地域ビジネスについて紹介する。

講師

信州大学農学部 教授 ^{かとう まさと} 加藤 正人 氏



略 歴

1983年北海道（道立林業試験場）入庁。
資源解析科長を経て、2005年より信州大学農学部教授。
北海道大学農学博士。

最近の研究について

研究分野は、森林計測、計画、リモートセンシング、GIS、レーザ計測、国際共同研究。

2000年第47回林業技術賞、2006年森林計画学会賞、2010年には日本森林学会賞を受賞。

2016年から農研機構・革新的技術開発「レーザーセンシングによるスマート精密林業技術の開発」コンソーシアムの研究代表者として、国内外の研究者らと産学官連携による林業の成長産業化を目指している。

◆ 質疑応答【16:20~16:30】

(問い合わせ先)

徳島県立農林水産総合技術支援センター
高度技術支援課

〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井1660

TEL: 088-674-3119

FAX: 088-674-1003

<http://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/>

